

浜松交響楽団

Hamamatsu Symphony Orchestra

第93回
定期
演奏会

20世紀を迎えるころ、芸術の都パリでは音楽家たちが切磋琢磨し、独自の管弦楽曲が数多く生まれました。今回は、実力派弦楽アンサンブル「天下統一」のメンバーでもある、チェロの中木健二さんとヴィオラの鈴木康浩さんを迎え、皆さまを憧れの国フランスへ誘います。浜響が精魂込めて奏でる“天下のフランス音楽”をお聴き逃しなく!

プログラム

ラヴェル／ 古風なメヌエット

原曲は伝統的なメヌエットと新奇性が融合した、フランスの風を感じるピアノ曲。ラヴェル自身によって編曲されたオーケストラ版で演奏します。

サン＝サーンス／ チェロ協奏曲第1番 イ短調 作品33*

抒情性豊かな朗々としたチェロの旋律が魅力的な、サン＝サーンス円熟期の傑作。壮年期の東洋趣味も感じさせる、演奏機会の多い人気協奏曲。

ベルリオーズ／ 交響曲「イタリアのハロルド」 作品16**

主人公ハロルドが諸国を巡り歩く、英国の詩に着想を得た、ヴィオラ独奏付きの交響曲。失恋したハロルドの放浪と死を描く、情景描写や心理描写の見事さが聴きどころ。



指揮／海老原 光
Hikaru Ebihara

鹿児島生まれ。鹿児島ラ・サール中学校・高等学校、東京芸術大学を卒業、同大学院修了。その後、ハンガリー国立歌劇場にて研鑽を積む。2007年ロブプロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第3位、2009年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで第6位入賞。2010年アントニオ・ベドロッチ国際指揮者コンクールでは審査員特別賞を受賞。指揮を小林研一郎、高階正光、コヴァーチ・ヤーノシュの各氏に師事。これまでに、国内主要オーケストラを指揮し、好評を得ている。2011年より毎年霧島国際音楽祭に登場している。また、2012年、2015年にクアアチア放送交響楽団の定期公演(ザグレブ)に出演、2019年にはゲデレー交響楽団に客演(ハンガリー)し、好評を博した。



チェロ／中木 健二*
Kenji Nakagi

東京藝術大学を経て2003年渡仏。パリ国立高等音楽院、スイス・ベルン芸術大学ソリスト・ディプロマコースの両校を首席で卒業。2005年第5回ルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位受賞。同年、第16回FLAME音楽コンクール(フランス)優勝。08年第1回Note et Bien国際フランス音楽コンクールでグランプリならびにドビュッシー特別賞、ブレーズ特別賞を受賞するなど、受賞多数。2013年にデビューCD「美しき夕暮れ」をリリース(キングレコード)。16年11月にリリースされた「J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲全曲」(キングレコード)は「レコード芸術」誌で特選盤に選出された。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京藝術大学音楽学部准教授。第11回名古屋音楽ペンクラブ賞受賞Thomastik Infeld社契約アーティスト。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより貸与されている1700年製ヨーゼフ・ヴァルネリ。



ヴィオラ／鈴木 康浩**
Yasuhiro Suzuki

桐朋学園大学卒業。ヴァイオリンを辰巳明子氏、ヴィオラを岡田伸夫氏に師事。第9回クラシックコンクール全国大会ヴィオラ部門第2位(1位なし)。第12回宝塚バガ音楽コンクール弦楽部門第1位ほか受賞多数。2001年からベルリンのカラヤン・アカデミーで研鑽を積んだ後、ベルリン・フィルの契約団員となる。04年に帰国。ソリストとして国内外のオーケストラとコンチェルトを共演。また、各地でリサイタルを行う。アンサンブル天下統一、TOKI弦楽四重奏団、王子ホールのランチタイムコンサートなど、室内楽にも力をいれて活動をしている。桐朋学園大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学で講師を勤め後進の指導にあたっている。読売日本交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。

— 浜松交響楽団 プロフィール —

「楽器のまちから音楽のまちへ」との願いをこめて1976年(社)浜松青年会議所により設立。1978年に財団法人となり、2012年4月より公益財団法人へ移行。現在団員数120名。秋と春の年2回の定期演奏会、小学校や中学校でのオーケストラ教室など、地域に根ざした活動を続けている。2000年度サントリー地域文化賞、静岡県知事賞、NHKあけぼの賞、2006年第59回中日文化賞を受賞。

定期演奏会を毎回よいお席、お得な料金で♪
浜響後援会「アンダンテクラブ」友の会

- 定期演奏会の指定席が2割引になります
- ご希望の座席を毎回ご用意いたします
- チケットと機関誌をご自宅までお届けします

詳しくは浜響ホームページ <http://www.hamakyou.jp/> ▶
または浜響事務局まで

浜響HP

